にも大企業と同じように、労働生産性を上げて、相当高い賃金を払い得るような体制を整えていただかねばならないと思います。

そのためには経営の改善、刷新、企業の組織化などをやらねばならぬことがいろいろあると思いますが、こういう企業進出の波の中で、在来企業が苦労されることですから、その在来企業の脱皮が円滑にいくように、県としては十分お手伝いをし、面倒をみていかねばならないと思っております。

議長　私達も知事がおっしゃったようなことで、協同化とか体質改善などをすすめ、中小企業にやる気をおこして、大いに頑張っていただくようにご支援いただきたいと思うわけです。

いまのように工場誘致が進められ、本県の工業化が促進されるようになってきますと、必然的に交通網の整備というものがなされてくるわけですが、昔からいいますように、交通網の整備、拡充がすべての行政の発展をもたらすといわれております。そういうことに思いをいたしまして、まず熊本新空港の問題ですが、これは知事さんもご承知のとおり、私が県議会で、その時の特別委員長をつとめましたが、幸い皆さん方のご協力をいただきまして、運輸大臣を迎えての起工式をあげるということができました。私にとりましては、非常に思い出深いことのひとつで、いまでも愛着があります。そういうことで現在の進捗状況とかあるいはまた完成の見とおしとか、三千メートルの延長に対することとか、そういったことについて……。

□新熊本空港もことしには完成

知事　飛行場問題では議長さんが特別委員長時代格別お世話になりました。県の執行部と地元地権者の間でほとんど交渉の糸が切れそうになっていた時、それをつないでいただいたのは当時の特別委員長のご努力のたまものでした。

運輸省の方でもやろうということになり、地元の地権者も二千メートルまでは話をかたづけてくださって、いま一生懸命工事をやっているわけです。二千メートルまではことしの暮れまでには全部できあがると思っております。

ただ一番機を年内に飛ばすということをかねがね申しておりましたが、滑走路ができあがっても、操縦士、その他が飛行場に慣れるのに若干ひまがいるのではないか、実用になるのは来年の初めになりはせんだろうかと懸念いたしております。残り千メートル伸ばすということは昨年のうちに地元との話がだいぶ煮つまってきましたので、最終的な解決は決して困難でないと思います。三千メートルにプラスＩＬＳ装置（計器着陸装置）をするための用地ということですから、三千メートルより少し長くなりはせんだろうかと思います。

この次の段階としては残り千メートルを県単独でやるか、それともそのままに将来、政治状勢が好転するまでに手もちにしておくか、ここいらはことし中に方針を決めなければならない問題だと思っております。いずれにいたしましても二千メートルの用地が確保でき、その上にＩＬＳ装置がつくということになりますと、国内では指折りの空港になると思うわけです。国家から認めてもらい格付けしてもらうというようなことは、政治状勢の好転を待ちながら、県民の皆さんに絶えず今後も努力してもらわなければならない問題と思います。

議長　知事さんもご承知のように鹿児島や大分や宮崎がしきりに重点事業の一つとして、空港の整備が企画されているということでございます。そういうさ中ですから、熊本県としては、これに遅れをとらないように十二分に完成を急いでもらいたいと思います。

空・陸・海　交通網の拡充へ

知事　宮崎、鹿児島にはいままで実績の上でたち遅れていると思います。宮崎は現在千八百、鹿児島は千六百。しかも鹿児島は沖縄、奄美の方にたくさんの客を持っているということで、実績の上では宮崎、鹿児島が上にいっておると思います。

熊本空港は建設を急いで実績をつみ上げていけば、縦貫道路の関係もあって立地条件が非常によいので、いまお話のあったような立ち遅れを取り返すことはできると思います。

□順調に進む九州縦貫道建設

議長　是非そうお願いします。ところで次に一番要望されます問題として、九州縦貫道路があるわけですが、植木―託麻間は、四十六年五月のゴールデンウィークまでは完成すると聞いております。それと託麻と松橋間もすでに発表になりまして、いよいよ待望の路線確定ができたわけでございます。これは県民のわれわれとしては、非常に喜こばしいことだと思います。

ところで今後の進め方ですが、それについて知事さんがどのような姿勢でお進めになるかお聞かせ願いたいと思います。

知事　皆さんの非常なご協力で縦貫自動車道路用地が熊本から福岡県境まで確保できたことは非常に成功だったと思います。

縦貫道路ができるということで、工場がきたところがだいぶありますので、それに対しても何とか早く仕上げねばならないと思っております。植木、熊本間の工事が進んでおりますが、その外南関、菊水間も、昨年の暮れに発注になりました。着工してから三年すると仕上がるのが慣例ですから、多少遅れても四十七年の初めにはでき上ると思っております。熊本以南についても、先ほどお話がありましたように昨年の暮れに路線が発表になりそれに続いて地元への説明会がありました。それから測量中心線の杭打ち、地権者との折衝ということで用地買収がだんだん具体化していくわけです。公団や政府部内には熊本県内だけ作っても利用価値が少ないじゃないかという議論もあります。しかし熊本から福岡県境まで仕上がると福岡県はじっとしておられないだろうと思います。また、植木から松橋までの路線が仕上がりますと、いまの熊本市を中心にした交通の渋滞というのは一挙に解決できると思っております。

松橋、八代間はいまのところ基本計画だけでまだ路線発表はありませんが、松橋まで路線の発表がありましたから、それはまた勢いで八代までおしていける。八代から福岡までの地帯は九州の中央都市軸になるところです。縦貫道路を早く仕上げることによって、その都市軸の完成を促進したいと思っております。

議長　手ぬかりはないと思いますが、用地買収などにあたっては、地元の方の十分なご協力をいただくよう慎重に、そしてまた迅速に行なわれますよう格段のご配慮をお願いいたします。

□主要道路の舗装にも力を

知事　県民の皆さんが縦貫道路に対しては、大きな期待をよせておられまして、いまのところ非常なご協力ぶりですから、これからも、皆さんの期待にこたえるように努力したいと思っております

議長　これは県内の一般的な交通網の整備になりますけれども、川尻バイパスの促進ですね。それから県道幹線の中では、空港関連道路、縦貫道関連道路とか、城北開発の横断道路とか、熊本、玉名線、あるいは三角、松橋線とたくさんあるわけですね。こういうのにも大いに意欲を燃やしていただいて促進をはかっていただきたいと思います。

知事　道路予算は、おかげさまで年々全国でも指折りの伸び率で伸びてきましたが、もともと予算の絶対額が少なかったところでありましたし、今日まだ道路利用者に大変ご迷惑をかけております。

三号線、五七号線、など主な幹線は大体仕上がりました。ただ熊本市とか植木、川尻、大津とかそういうところが非常に混雑してご迷惑をかけておりますので幹線でのバイパスが問題です。植木のバイパスは、ことしは貫通いたしますし、大津も用地買収がすみましたので、ことしは工事にかかれると思います。川尻バイパスが今日まだ最終的に用地買収にかかれるところに至っておりませんが、促進しなければならないと思っております。

議長　いまの東熊本バイパスも非常に大事だと思っております。

知事　東熊本バイパスは計画もできているし、予算もついていることですから、用地買収に、全力をあげていかねばならないと思っております。

議長　舗装は一般的に大変、進んでいると思います。このような勢いで、舗装の要望は各市町村から非常に多いし、いまの勢いでひとつやっていただきたい。

知事　改良の終わったところは、もちろん改良がすまないところも早く舗装せよ、という県民の皆さんのご要望で舗装するところもずいぶん増えました。予算も公共事業で足りないところは単県費で舗装することにして、昨年からずいぶん力を入れました。ことしもひきつづいて県民の皆さんのご要望にそうように予算化していきたいと思っております。

□九州新幹線の見とおしは

議長　ところで九州新幹線の熊本延長の問題ですが、大阪・博多間の新幹線が昭和五十年、早ければ四十九年には完成することになっております。それから博多から七キロ離れた熊本よりの白水（しろうず）というところがあるそうです。そこに駅を作られるというような計画になっておりますが、そうなりますと熊本から九十三キロということになります。国鉄でも延長するような態勢があるように伺っております。

東京、仙台、盛岡のいわゆる東北新幹線、東京から高崎、新潟の北陸新幹線、ここはいずれも一生懸命誘致運動をやっ